

メロディー

みどろ
区長 筋原章博のコラム 通信 NO.36



4月から始まる新年度の港区予算が決定しました。

2025年大阪・関西万博に向け、世界中から人やモノ、投資が集まりつつあります。この流れを素通りさせずに港区でもガッチリと受け止めるためには、その受け皿となる「探しても行きたくなる面白い店や場所」や「元気な地場産業」を育てる必要があります。昨年度から、弁天町駅・朝潮橋駅・大阪港駅3つの駅の周辺エリアを面白く変えていくために、八幡屋公園でのバーベキュースタイルを取り入れたイベント、中央突堤の倉庫での音楽・DJクラブイベントなど、今までに無い内容で来場者にどれだけ楽しんでもらえるかを見る社会実験を行ってきました。新年度はこれら3エリアでの実験イベントの常設化を旨とするとともに、海・川からの舟運も合わせ活性化をはかる社会実験にチャレンジします。港区は菱垣廻船の時代から海・川を通じ全国からの人や物産が交流することで発展してきたまちです。その伝統を未来に合った形で復活していくことをめざします。教育・子育て支援・福祉・防災等にもこれまで同様、注力してまいります。新年度も港区の取り組みに引き続きのご支援をお願い申し上げます！

港区長 筋原章博